Horizon

iCE Series

紙折機

iCE FOLDER AFV-56K シリーズ

AFV-566FKT / AFV-564FKT

iCE Series 誕生

i = Intelligence 英知, Integration 統合, Interaction 対話
C = Connection 接続
E = Efficiency 効率

Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Seriesは、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。
ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。
さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

マイスターレベルの精度と高生産性を実現 次世代型紙折機

スキルレスな操作性と高品質な折りの安定化を実現します。

特　長

操作性と折り精度の向上
用紙サイズや折形などをタッチパネルに入力することでセットアップを自動で完了できます。スキルレスな操作性で熟練したオペレーターでなくても安定した折り精度を実現できます。

生産性の向上
自動化技術の向上と新機能の追加により、従来機と比べてセットアップ時間が最大65%短縮されました。

幅広いアプリケーションに対応
柔軟なシステム構成により、パンフレットやカタログ、DMなど、幅広いアプリケーションの折形に対応します。バックルや加工刃などのオプションも豊富に取り揃えています。

視認性の向上
機械の稼働状況に応じて本体内照が変わるステータスライトを搭載し、離れた場所からでも稼働状況を把握できます。カバーオープン時は、機械内ランプとして点灯するため、機内照明として役立ちます。LEDライトの色は、タッチパネルで変更可能です。

ワークフローシステム
製本工程全体を最適化するホリゾンのポストプレスマネジメントシステム iCE LiNKとの連携が可能です。(JDFにも対応可能です。)

AFV-566FKT + PST-44

iCE FOLDER

製品動画はこちら

高品質と高効率生産の追求

省力化と生産効率を向上させるユニークな機能が満載です。

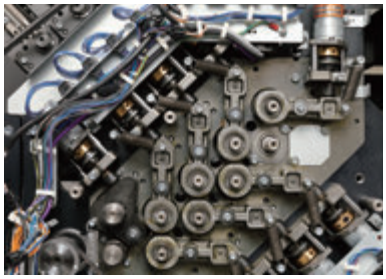
操作性を高める自動化

折りズレ調整の簡易化

- 画面に表示されるイラストに従って折りズレ量を入力すると、用紙搬送部の流し台定規の傾きやバックル寸法が自動で補正されます。勘や経験に頼ることなく高精度な折りを実現します。

ローラギャップ調整の簡易化

- 用紙を１枚挟むことで用紙厚さや折形に応じて、すべてのローラギャップが自動設定されます。1箇所ずつ用紙を挟む必要がないため、オペレーターの負荷を低減し、セット替え時間を大幅に短縮します。
- 各ローラギャップの微調整はすべてタッチパネルからミクロン単位で行うことができます。



流し台定規部を自動化

- 流し台定規は用紙幅に合わせて自動設定されます。用紙を吸引ファンで吸い寄せながら定規に沿って搬送します。
- ５ヶ所の独立した吸引ファンの風量は、用紙長さや厚さに応じて自動設定されます。各ファンの風量は、用紙の状態に合わせた調整も可能です。設定はメモリー登録できるため、リピート作業時では再設定の必要がありません。

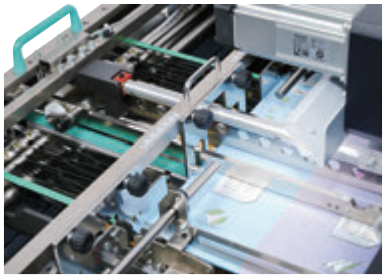
多彩なアプリケーションに対応

- タッチパネル上に表示された折形の組み合わせを選択することで、様々な折りパターンが設定できます。各ガイドの寸法値を直接入力することで、その他の折形も自在に設定可能です。

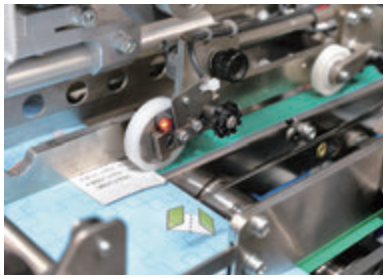
品質と生産性の向上を実現する新機能

紙折り部の自動化

- ナイフストッパーの位置調整と傾き調整は自動で行われます。ナイフストッパーの脱着作業が必要ないため、カバーを開けずに素早くセット替えを完了できます。
  (※用紙サイズによっては、部品の脱着作業が必要な場合があります。)

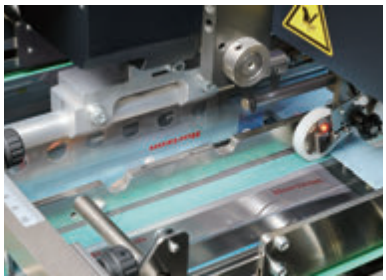


- ナイフストッパーに衝突した用紙の跳ね返りを防止するローラは、用紙の後端を自動で探知し、正確に位置決めします。紙質や折形の変更後に手動調整する必要がなく、自動で設定が行われます。



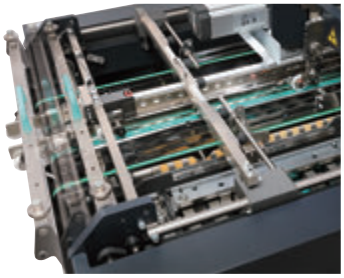
高生産性

- ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出します。給紙間隔は紙質や折形に応じた適正値に自動調整され、スキルレスで安定した生産を実現できます。



便利機能

- ナイフ折り部搬送ローラとナイフ折り搬出部カバーは、スライド機構を備え、紙づまりが発生した場合に用紙を容易に取り除くことが可能です。



ナイフ折り部搬送ローラ

ナイフ折り搬出部カバー

主な自動調整箇所		
給紙部	テーブルガイド	用紙幅に合わせて自動設定されます。
	サクションヘッド	用紙長さに合わせて自動設定されます。
用紙搬送部	流し台定規	用紙幅に合わせて自動設定されます。
	流し台定規吸引ファン風量	用紙長さ、紙質、紙の厚みから最適な風量が自動設定されます。
	浮き上がり防止ガイド	用紙幅に合わせて自動設定されます。
	紙端ガイド	用紙幅に合わせて自動設定されます。
	流し台定規傾き	折りのズレ量を入力することで自動補正されます。
折り部	ローラギャップ	用紙厚さ、折形に合わせて自動設定されます。
	バックルストッパー	折形に合わせて自動設定されます。
	跳ね返り防止ローラ	折形に合わせて自動設定されます。
	ナイフストッパー	折形に合わせて自動設定されます。
	ナイフ折り時の給紙間隔	通紙状態をリアルタイムに監視し、最適な間隔に自動設定されます。

各部の機能説明

1 操作部

12.1インチの新型タッチパネルにより、グラフィカルで直感的な操作が可能です。用紙サイズや折形などをタッチパネルに入力することで、本機がすべて自動で設定されます。ジョブに応じた調整や設定内容は、最大999ジョブまでメモリー登録することが可能なため、リピートのジョブも効率的に生産可能です。(従来機のAFC-566FKTでメモリー登録した情報を本機へ引継ぐことも可能です。)

リモコン操作

ジョグダイヤル付き有線リモコンを標準装備しています。スタート、ストップ、テスト給紙は、タッチパネルから離れた位置でも操作できます。紙の流れを確認しながら、ジョグダイヤルを使用しての微調整も簡単に行えます。

2 サクションヘッド部

新開発のサクションヘッドにより、セットアップの簡易化と安定給紙を実現しました。サクションヘッドと横吹きエアー※で用紙のさばきとピックアップを確実に行います。サクションヘッドの高さとサバキエアーの風量は、用紙の状態に応じて調整できるため、幅広い種類の用紙を安定して給紙できます。

※用紙の高さに合わせてノズルの高さをスイングする横吹きキットSAB-56Vもオプションでご用意しています。

3 給紙部

高品質のポリウレタン製給紙ロータにより、用紙を傷つけることなく、高速給紙を実現します。エアーの吸引角度を調整できるため、安定した給紙が可能です。二枚差し検知には超音波センサーと光電センサーを標準装備し、用紙の条件によって使い分けが可能です。

超音波センサー

超音波の透過で検知するためベタ刷りなど、印刷の濃淡に影響を受けることなく、二枚差しを確実に検知できます。

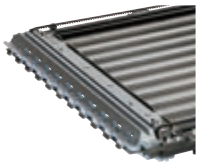
4 用紙搬送部

独自設計の用紙搬送部は、静電気による搬送トラブルを抑え、薄紙から厚紙まで幅広い種類の用紙を傷つけることなくスムーズに搬送します。上面に追加したカバーで静音性と安全性が向上しました。各ガイドは自動設定されるためセット替えごとにカバーを開ける必要はありません。二枚差しが発生した場合は、クラッチが機能して用紙を搬送部で止めるため、ヤレ紙を発生させません。

5 バックル部

特殊加工されたバックルプレートは、摩擦を低減し、折りズレを防ぎます。2種類の異なるストッパー形状のバックルの他、用紙長さが異なっても瞬時に折形を変更できるダイナミックフォールドバックル※も取り揃えています。※オプション

自動シャッター全面デフレクタ
B-56V

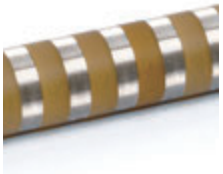


櫛型デフレクタバックル
B-56C

6 折りローラ部

ローラリンクに特殊無給油軸受を採用し、さらなる折り精度の安定化を実現しました。ウレタンとスチールのコンビネーションローラは、用途に合わせて発泡ウレタンと硬質ウレタンの２種類から選択可能です。

発泡ウレタンローラ
RL-566VS/RL-564VS



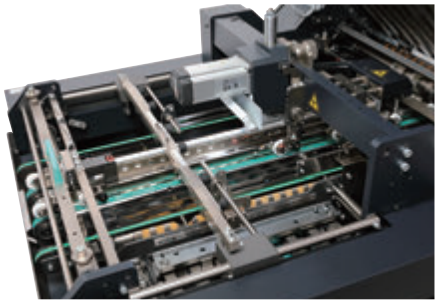
硬質ウレタンローラ
RL-566VH1/RL-564VH1

7 ミシン / 筋入れ加工部

アジロ折りやミシン目、筋入れ加工などの多彩な用途に応じた加工が可能です。高剛性の筋入れユニットにより、複数の筋も正確に入れることが可能です。溝裁ちによる二丁掛けやパンチミシン加工などもオプションで対応可能です。

※写真はオプションの溝立ちユニット AF-ST5N を装着しています。

8 ナイフ折り部



ナイフユニットは剛性を高め、耐久性が更に向上しました。従来機で手動調整だったナイフストッパーの傾き調整や跳ね返り防止ローラを自動化しました。ナイフストッパーの脱着作業も不要になり、スキルレスな操作で素早いセット替えが可能です。

iCE FOLDER

AFV-566FKT + LCVV-56

オプション

給紙部・加工部用オプション

SSK-56V 小サイズ給紙キット

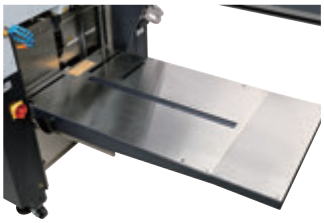
- 最小105～127 mm幅の用紙に対応可能です。給紙はサクションヘッドを使用せず、横吹きエアーを使用します。

SAB-56V 横吹きエアーキット

- 積載される用紙の高さに合わせてノズルがスイングするため、確実に用紙をさばくことが可能です。標準の横吹きエアーノズルよりもさらに安定した給紙が可能です。

LT-56V ロングテーブル

- 給紙棚とサクションヘッドステーを延長し、最大長さ1,100 mmの用紙に対応可能です。(標準は900 mmまで)



CLF-56V クリアファイル仕様

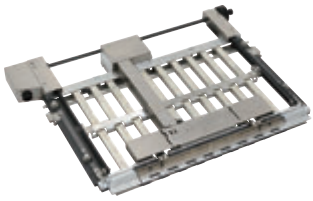
- 連続回転する標準の給紙ロータとは異なり、給紙するタイミングのみ給紙ロータを回転させ、給紙後は瞬時に回転を止める間欠動作が可能です。給紙待機状態のとき、給紙ロータの回転キズを防止できます。

FP-56V / FP-56VP 前ミシンユニット

- 紙折り加工前にミシン目を入れます。高精度刃受けドラムを使用しているため、マイクロミシンでも精度の高い加工が可能です。オプションでジャンピングミシン加工にも対応可能です。

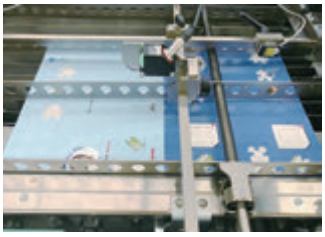
GFB-56V 観音折バックル

- 自動設定のストッパーを備え、簡単な調整で品質の高い観音折が可能です。



IC-56V-U / IC-56V-L 紙面チェッカー

- あらかじめ記憶させた印刷物の一部の画像と給紙された印刷物を比較することで、印刷ミスや積み間違いを検知します。



CGU-51 糊付け装置

- 糊付け装置を装着することで、8ページや12ページの糊綴じ製本など付加価値の高い加工が可能になります。また、プラスチックを使用しない環境に配慮した紙製ファイルの製造も可能です。(紙製ファイルの抜き加工には、ホリゾンのロータリーダイカットシステムRDシリーズが最適です。)

加工刃

- さまざまな種類の刃をご用意しています。(写真は一例です。)

(単位 mm) (カット×ブランク)

給紙部 オプション一覧

● 後付け可能オプション ○ メーカーオプション

	名　称	型　式	説　明	AFV-566FKT	AFV-564FKT
選択	真空ポンプ	P-56VJ	国内専用	●	●
		P-56VSH	消音効果に優れます。(※消音効果：－6dB)	●	●
		P-56VX	長寿命 (※ブレード耐久時間：20,000時間)	●	●
	集中エアー装置	AI-56V	圧縮エア・省エネタイプ (※ポンプ不要)	●	●
	小サイズ給紙キット	SSK-56V	最小幅105 mmの用紙を給紙できます。(標準：128 mmまで)	●	●
	横吹きエアーキット	SAB-56V	スイング式の横吹きエアーにより、さらに安定した給紙が可能です。	●	●
	ロングテーブル	LT-56V	最大長さ1,100 mmの用紙を給紙できます。(標準：900 mm)	●	●
	クリアファイル仕様	CLF-56V	給紙ロータを間欠動作にすることで、クリアファイルの傷を防止します。	●	●
	インライン接続コンベヤ	DIFV-56	ロール紙から切り出した用紙をAFV-566/564FKTに搬送する装置	●	●
	バーコードリーダキット	BR-56DF	ダイナミックフォールドを行う際にQRコード (データマトリックス) を使用し、折形を切り替えます。	●	●
	インターフェースユニット	IF-IT	Horizon製品に対応したHunkeler社やTecnau社製前処理機との接続時に必要なユニットです。前処理機とAFV-566/564FKTの間で、スタート・ストップ・速度を連動させることができます。また、運転中に前処理機で読み取ったバーコードのジョブ情報から、AFV-566/564FKTのセット替えを自動で行い、セット完了後はリスタートします。	●	●

折り・ミシン・筋入れ加工部 オプション一覧

● 後付け可能オプション ○ メーカーオプション

	名　称	型　式	説　明	AFV-566FKT	AFV-564FKT
選択	発泡ウレタンローラ	RL-566VS	6枚バックル用折りローラ (8本)	●	－
		RL-564VS	4枚バックル用折りローラ (6本)	－	●
	硬質ウレタンローラ	RL-566VH1	6枚バックル用折りローラ (8本)	●	－
		RL-564VH1	4枚バックル用折りローラ (6本)	－	●
	前ミシンユニット	FP-56V	平行折りの前にミシン加工が可能 (金属製刃受けドラムローラ)	○	○
		FP-56VP	平行折りの前にミシン加工が可能 (脱着式の樹脂製刃受けローラ)	○	○
	ジャンプミシンユニット	JM-AF	折る前に間隔を開けてミシン加工が可能なジャンプミシンユニット	●	●
	ジャンプミシンコントローラユニット	JM-C56V	JM-AF用のコントローラ	○	○
	パンチミシンユニット	AF-PP5N	平行折りのパンチミシン加工が可能	●	●
	溝裁刃ユニット	AF-ST5N	平行折りの溝裁ち加工が可能	●	●
	端裁刃ユニット	AF-ET5N	平行折りの端裁ち加工が可能	●	●
	ナイフ下フラットデフレクタ	FD-K56V	ナイフ下バックルの代わりに取り付けるストレートデフレクタ	●	●
	ナイフ下ミシン軸	KPS-56V KPS-56VM	KT-CR56V、KT-SP56V、KT-PP56V、KT-ST56V、KT-ET5を取り付けるためのセグメントローラ (KPS-56VMは後付け用)	●	●
	ナイフ下筋入れローラ	KT-CR56V (※1)	ナイフ折り後の折丁に筋加工が可能	●	●
	ナイフ下アジロ刃ユニット	KT-SP56V (※1)	ナイフ折り後の折丁にアジロ加工が可能	●	●
	ナイフ下パンチユニット	KT-PP56V (※2)	ナイフ折り後の折丁にパンチミシン加工が可能	●	●
	ナイフ下溝裁ちユニット	KT-ST56V (※1)	ナイフ折り後の折丁に溝裁ち加工が可能	●	●
	ナイフ下端裁ちユニット	KT-ET5 (※1)	ナイフ折り後の折丁に端裁ち加工が可能	●	●
	糊付装置	CGU-51	8ページ、12ページ等の糊綴じ製本用装置	●	●
	糊付装置付キット	CGU-K56V	CGU-50用取付けキット	○	○
	溝入り発泡折りローラ	RL-CG56VS	中央に糊の逃がし溝がある折りローラ	○	○
	セグメント発泡折りローラ	RL-SEG56VS	任意の位置に糊の逃がし溝を設定できる折りローラ	●	●
	セグメントバックル	SGB-56V	任意の位置に糊の逃がし溝を設定できるバックル	●	●
	紙面チェッカー	IC-56V-U	カメラを使用して用紙の上面を検査し、用紙の積載ミスや印刷ミスを防止します。	●	●
	紙面チェッカー	IC-56V-L	カメラを使用して用紙の下面を検査し、用紙の積載ミスや印刷ミスを防止します。	●	●
	観音折バックル	GFB-56V	観音折り用バックル	●	●
	除電装置 (イオナイザー)	INZ-DIFV	インライン接続コンベヤDIFV-56から、用紙搬送中の静電気の発生を抑えることができます。	●	●
		INZ-56V	用紙搬送中の静電気の発生を抑えることができます。	●	●

※1 取り付けにはKPS-56V/KPS-56VMが必要です。
※2 取り付けにはKPS-56V/KPS-56VM、KT-SP56Vが必要です。

その他オプションや周辺機器も豊富に取り揃えています。詳しくは弊社営業までお問い合わせください。

オプション

搬出部用オプション

LCVV-56 デリバリーコンベヤ

- 全幅のベルトにより、様々なサイズの用紙をスムーズに搬送します。
- 紙折機の搬出位置に合わせて高さ調整が可能です。
- 紙折機のタッチパネルでベルトの動作設定が可能です。

PSX-56 / PSX-56R パイル式プレススタッカー

- 大径ローラによる強力なプレスでフラットな折丁に仕上げます。あらかじめ設定した枚数を積み重ねて搬出するため、梱包作業を効率化できます。
- 操作パネルを装備しており、各設定の変更や、メモリー登録（最大20ジョブ）も可能です。

PSX-56

PST-66 / PST-44 / PST-44L プレススタッカー

- 第1ローラでエアーを抜き、第2ローラで強力にプレスします。貼り付き防止の特殊加工したプレスローラを採用しているため、薄紙の折丁から16ページ折りの厚い折丁にも対応可能です。
- 任意の枚数に区分け搬出することが可能なため、作業効率が向上します。
- PST-44/44Lは最大幅470 mm、PST-66は最大幅690 mmの用紙に対応可能です。（区分けなしのとき）
- PST-44Lは、搬出コンベヤをPST-44よりも300 mm延長しています。

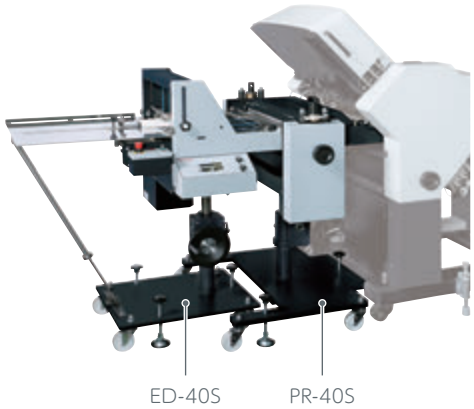
PST-66

PR-40S プレスローラユニット

- 省スペースながら4,000Nの強力なプレスにより、フラットでシャープな角の折丁に仕上げ、梱包時の作業効率を向上させます。

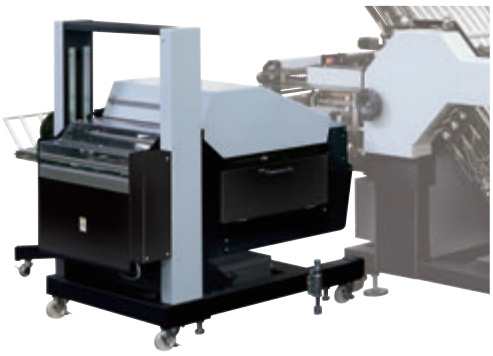
ED-40S 縦整列コンベヤ

- 小物折りの製品を縦整列して搬出し、梱包時の作業効率を格段に向上します。
- 自動区分け機能による正確な計数管理が可能なため、梱包作業の負担を軽減します。



MKU-54T モバイルナイフユニット

- ナイフ下にバックルを備えたナイフユニットです。幅165～538 mmの用紙サイズに対応可能です。
- 8ページ折の巻き三つ折に仕上げることができます。



MKU-38 モバイルナイフユニット

- 幅90～380 mmの用紙サイズに対応可能です。
- ナイフユニットは回転式を採用しているため、折り下げと折り上げのどちらにも対応可能です。

T-564A / T-566A 自動設定バックルユニット

- T-564A（4 枚バックル）や T-566A（6枚バックル）を2番機として直角または平行に接続することで、対応可能な折形を飛躍的に広げます。
- 独立したカラータッチパネルを装備し、用紙サイズや折形を入力するとバックルは自動調整されます。

オプションユニット一覧

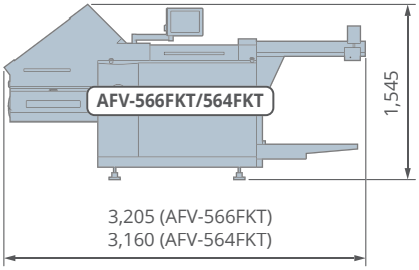
名　　称	型　式	説　　明	備　　考
ロングコンベヤ	LCVV-56	紙折機で動作を設定できます。	–
	LCV-54	紙折機と連動させずに動作し続けます。	–
プレススタッカー	PST-44 / PST-44L	折丁をプレスしてスタックする装置（プレス力：4,000 N）用紙幅最大470 mm コンベヤの長さを選択可能	接続ケーブル CMC-P5V25 必須
	PST-66	折丁をプレスしてスタックする装置（プレス力：12,000 N）用紙幅最大690 mm	
パイル式プレススタッカー	PSX-56 / PSX-56R	DM、折丁、中綴じ冊子を確実にプレスし、積み重ねて搬出します。	接続ケーブル CMC-P4V 必須
折丁ブロック集積装置	BBS-40 / BBS-40L	折丁の天と地を糊で仮綴じする装置	接続ケーブル CMC-P5V25 必須
縦整列コンベヤ	ED-40S	搬出後の取扱い効率を向上させるため、小物折りを縦整列して搬送します。	接続ケーブル CMC-P3V 必須 ※ PR-40S に接続する場合不要
プレスローラユニット	PR-40S	折丁をプレスして搬出する装置（プレス力：4,000 N）	接続ケーブル CMC-P3V 必須
モバイルナイフニット	MKU-54T	用紙をナイフで折る装置（ナイフ下にバックルを 1 枚標準装備）	接続ケーブル CMC-P4V 必須
	MKU-38	折り下げ、折り上げのどちらにも対応できる省スペース型ナイフユニット	
自動設定バックルユニット（2番機）	T-566A / 564A	バックルユニットを追加し、折りバリエーションを広げることができます。	接続ケーブル CMC-P3V 必須
インターフェースユニット	IF-EXD	Horizon 製品に対応した他社製後処理機との接続時に必要なユニットです。	–

製品仕様

システム構成例 (単位：mm)

AFV-566FKT / AFV-564FKT

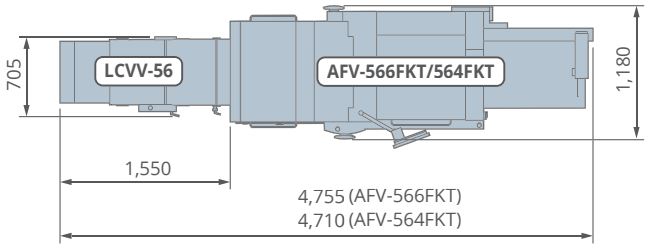
(正面図)



構成例 1

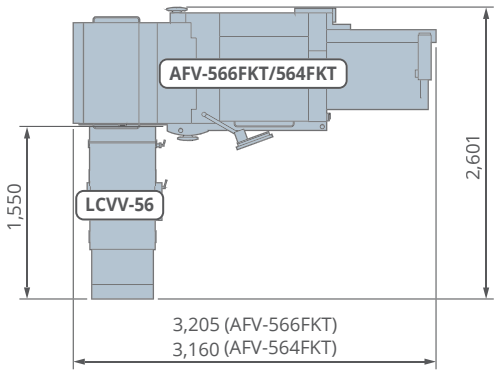
■ LCVV-56（平行折り）

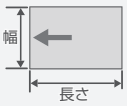
(平面図)



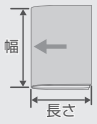
■ LCVV-56（クロス折り）

(平面図)



AFV-566FKT / 564FKT		
機械構成	AFV-566FKT 平行バックル6枚 + ナイフ + ナイフ下バックル2枚	
	AFV-564FKT 平行バックル4枚 + ナイフ + ナイフ下バックル2枚	
用紙サイズ		幅 × 長さ 最大560 mm※1 × 900 mm 最小128 mm※2 × 148 mm ※1 くし形バックルB-56C取付時は558 mmです。 ※2 平行折り搬出時の最小幅です。オプションの小サイズ給紙キットSSK-56V取付時は105 mmです。
紙質	非塗工紙 40～250 g/㎡ (四六判連量 35～215 kg) 塗工紙　50～232 g/㎡ (四六判連量 43～200 kg)	
ベルト速度	30～270 m/分	
最高処理速度	サクションヘッド　36,000サイクル/時 ナイフ　21,000サイクル/時	
バックル折長さ	第1バックル (櫛) 30～450 mm (ストレート) 35～450 mm	
	第2バックル (櫛) 30～450 mm (ストレート) 35～450 mm	
	第3バックル (櫛) 30～450 mm (ストレート) 35～450 mm	
	第4バックル (櫛) 30～330 mm (ストレート) 35～330 mm	
	第5バックル (櫛) 30～450 mm (ストレート) 35～450 mm	
	第6バックル (櫛) 30～330 mm (ストレート) 35～330 mm	
	K1バックル (ナイフ下手前) 30～150 mm	
	K2バックル (ナイフ下奥) 30～150 mm	
エアーポンプ (オプション)	オプション 排気速度 40 m^3/hクラス以上 到達真空度 -60 kPa 到達排気圧 +60 kPa 定格出力 2.2 kW (60Hz) 程度 電源200～220 V / 380～400 V	
	商品名：P-56VJ、P-56V、P-56VSH、P-56VX	
電源	3相 200 V, 50 / 60 Hz	
機械寸法	AFV-566FKT 幅3,205 × 奥行1,180 × 高さ1,545 mm	
	AFV-564FKT 幅3,160 × 奥行1,180 × 高さ1,545 mm	

※用紙の種類や使用環境が、精度に影響を及ぼす場合があります。

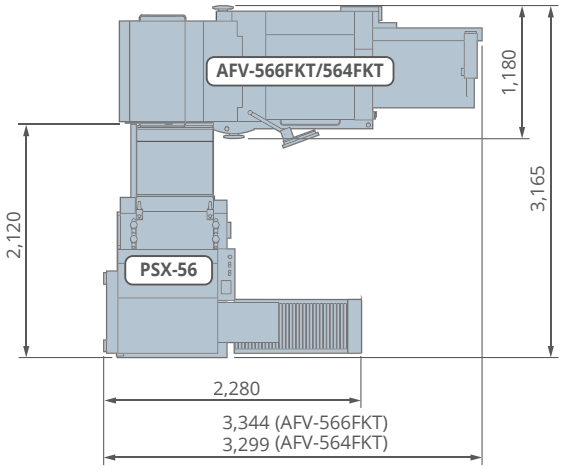
LCVV-56		
折丁サイズ		幅 × 長さ 最大 560 ×470 mm 最小 100 ×50 mm
電源	DC24V 紙折機コネクタより供給	
機械寸法	最大 幅1,550 × 奥行705 × 高さ1,080 mm 最小 幅1,220 × 奥行705 × 高さ780 mm	

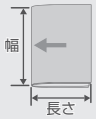
※用紙の種類や使用環境が、精度に影響を及ぼす場合があります。

構成例 2

■ PSX-56（クロス折り）

（平面図）



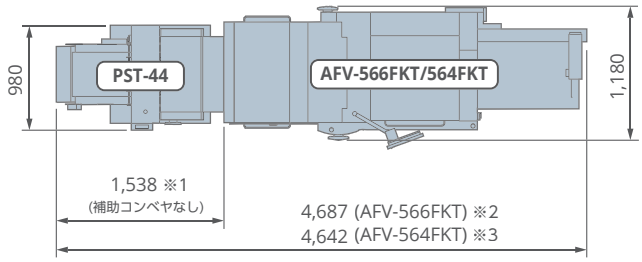
PSX-56 / PSX-56R		
折丁サイズ		幅 × 長さ 最大 546 x 330 mm 最小 128 x 92 mm
折丁厚さ	最大 4 mm	
スタック量	最大 200 mm 最小 10 mm	
処理速度	最高 900 束 / 時 （搬送爪が停止することなく繰り返しパイルを搬出し続ける状態）	
プレスローラ本数	2 プレス方式 エアー抜きローラ ×1 プレスローラ ×1	
電源	3相 200 V, 50 / 60 Hz	
機械寸法	幅 2,120 × 奥行 2,280 × 高さ 1,080 mm	

※用紙の種類や使用環境が、精度に影響を及ぼす場合があります。

構成例 3

■ PST-44（平行折り）

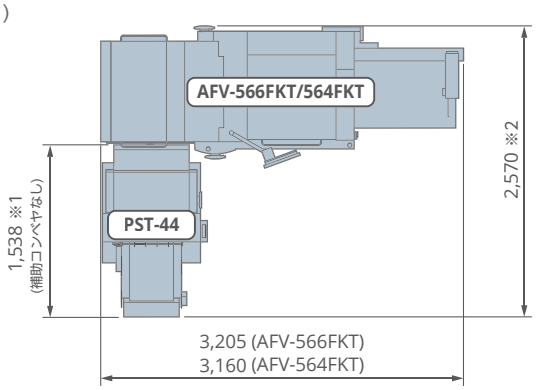
（平面図）



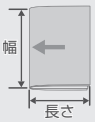
※1 PST-44L: 1,838（補助コンベヤなし）
※2 PST-44L: 4,987 (AFV-566FKT)
※3 PST-44L: 4,942 (AFV-564FKT)

■ PST-44（クロス折り）

（平面図）



※1 PST-44L: 1,838（補助コンベヤなし）
※2 PST-44L: 2,870

PST-44 / PST-44L		
折丁サイズ		最大幅 区分けあり：440 mm 区分けなし：470 mm （いずれの場合も補助ベルト部は380 mm） 最小長さ：50 mm（補助ベルト部使用時）
折丁厚さ	最大 4 mm	
プレスローラ速度	30 ～ 180 m/ 分	
区分け量	30 mm	
プレスローラ本数	エアー抜きローラ ×1 プレスローラ ×1	
電源	3相 200 V, 50 / 60 HZ	
機械寸法	PST-44：幅 1,845 × 奥行 980 × 高さ 1,359 mm	
	PST-44L：幅 2,145 × 奥行 980 × 高さ 1,359 mm	

※用紙の種類や使用環境が、精度に影響を及ぼす場合があります。

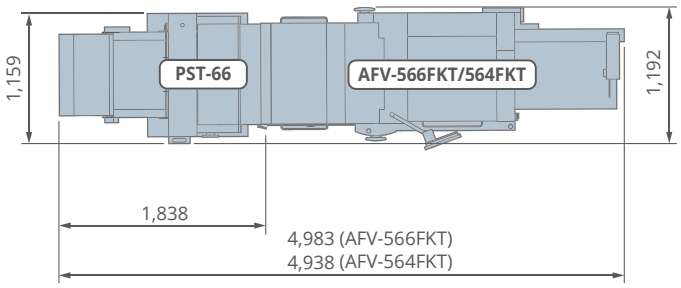
製品仕様

システム構成例 (単位：mm)

構成例 4

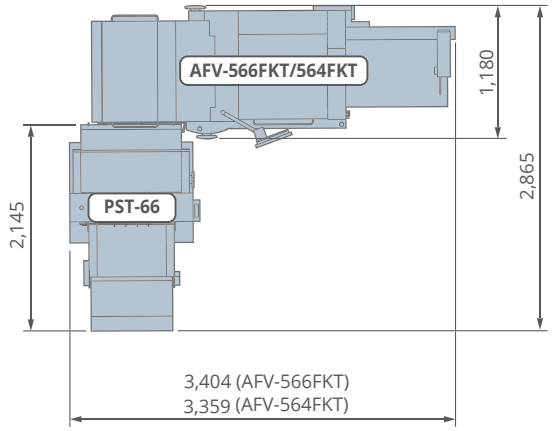
■ PST-66（平行折り）

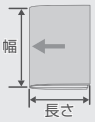
（平面図）



■ PST-66（クロス折り）

（平面図）



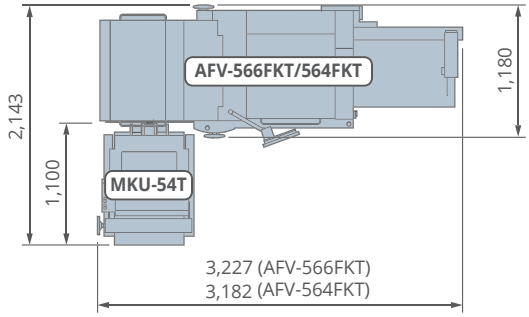
PST-66		
折丁サイズ		最大幅 区分け有：660 mm 区分けなし：690 mm （いずれの場合も補助ベルト部は380 mm） 最小長さ：50 mm（補助ベルト部使用時）
折丁厚さ	最大 4 mm	
プレスローラ速度	30 ～ 180 m/分	
区分け量	30 mm	
プレスローラ本数	エアー抜きローラ×1 プレスローラ×1	
電源	3相 200 V, 50 / 60 HZ	
機械寸法	幅2,145 × 奥行1,159 × 高さ1,359 mm	

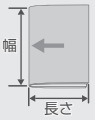
※用紙の種類や使用環境が、精度に影響を及ぼす場合があります。

構成例 5

■ MKU-54T（クロス折り）

（平面図）



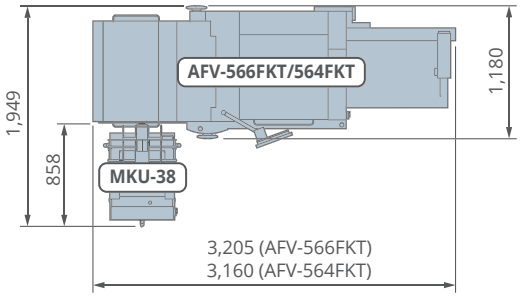
MKU-54T		
折丁サイズ		幅 × 長さ 最大 538 × 350 mm 最小 165 × 80 mm
ベルト速度	50 ～ 180 m/分	
搬送すき間	折りローラ部　最大2 mm ※A4中綴じ冊子を巻き三つ折する際の目安 上質紙81 g/㎡（四六判70kg）3枚（12ページまで） 上質紙64 g/㎡（四六判55kg）4枚（16ページまで）	
バックル折長さ	60 ～ 150 mm（手動）	
電源	単相 200 V, 50 / 60 Hz	
機械寸法	幅860 × 奥行1,100 × 高さ1,280 mm	

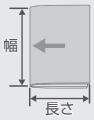
※用紙の種類や使用環境が、精度に影響を及ぼす場合があります。

構成例 6

■ MKU-38（クロス折り）

（平面図）



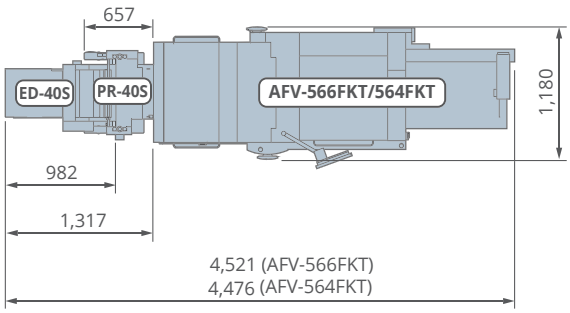
MKU-38		
折丁サイズ		幅 × 長さ 最大 380×280 mm 最小 90×20 mm
ベルト速度	30 ～ 180 m/分	
搬送すき間	折りローラ部　最大 4 mm	
電源	単相 200 ～ 240 V, 50 / 60 Hz	
機械寸法	幅685 × 奥行858 × 高さ1,283.5 mm	

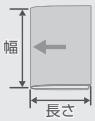
※用紙の種類や使用環境が、精度に影響を及ぼす場合があります。

構成例 7

■ PR-40S + ED-40S（平行折り）

（平面図）

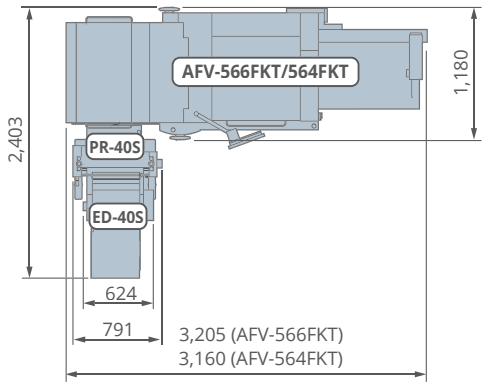


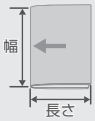
PR-40S		
折丁サイズ		最大幅 400 mm 最小幅 30 mm 最小長 25 mm※ ※25 mm以上であっても折丁の開き具合によっては搬送および前後処理機との受け渡しができない場合があります。
折丁厚さ	最大 3 mm	
ベルト速度	30 ～ 180 m/分	
プレスローラ本数	プレスローラ×1	
電源	単相 200 ～ 240 V, 50 / 60 Hz	
機械寸法	幅791 × 奥行657 × 高さ1,066 mm	

※用紙の種類や使用環境が、精度に影響を及ぼす場合があります。

■ PR-40S + ED-40S（クロス折り）

（平面図）



ED-40S		
折丁サイズ		最大幅 400 mm 最大長さ 150 mm 最小幅 30 mm 最小長さ 20 mm※ ※20 mm以上であっても折丁の開き具合によっては搬送および前後処理機との受け渡しができない場合があります。
折丁厚さ	最大 3 mm	
スタック量	最大 395 mm 最小 5 mm	
ベルト速度	30 ～ 160 m/分	
電源	単相 200 ～ 240 V, 50 / 60 Hz	
機械寸法	幅982 × 奥行624 × 高さ1,153 mm	

※用紙の種類や使用環境が、精度に影響を及ぼす場合があります。

MORE AT
HORIZON.CO.JP

Horizon

ホリゾン・ジャパン株式会社　www.horizon.co.jp

本　　社　〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F
TEL. 03-3863-5361（代）　FAX. 03-3863-5360

東 京 支 社　〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9
TEL. 03-3652-7631（代）　FAX. 03-3652-8083

京 都 支 社　〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510
TEL. 075-933-3060（代）　FAX. 075-933-4025

福 岡 営 業 所　〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17
TEL. 092-626-8111（代）　FAX. 092-626-8112

仙台サービスセンター　〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31
TEL. 022-782-2821（代）　FAX. 022-782-3068

＊ このカタログの記載内容は、2025 年 5 月現在のものです。
＊ 安全にお使いいただくために、ご使用の前にユーザーズマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。
＊ 製品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
＊ 環境や条件により、仕様が変動することがあるため、十分な事前確認の上でご使用ください。

250526/CT00009-04